

# 令和7年度「救急の日」及び「救急医療週間」における消防庁の取組

救急企画室

## 1. はじめに

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、昭和57年に定められ、以来、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。（今年も、9月7日（日）から9月13日（土）まででした。）

消防庁では、この期間中に「令和7年度救急功労者表彰式」を行いました。



総務大臣表彰の授与

## 2. 令和7年度救急功労者表彰式

9月9日（火）、KKRホテル東京において、全国消防長会 市川博三会長及び一般財団法人救急振興財団 佐々木敦朗理事長に御臨席いただき、令和7年度救急功労者表彰式が挙行されました。

受賞者の皆様は、長年にわたり、メディカルコントロール体制の充実強化や救急隊員の教育・指導、救急患者の積極的な受入りに御尽力されるなど、各地域の救急医療や救急業務を支えてこられた方々です。

総務大臣表彰は10名、消防庁長官表彰は20名が受賞され、村上誠一郎総務大臣及び大沢博消防庁長官から表彰状が授与されました。（別紙参照）



消防庁長官表彰の授与



記念撮影

## 令和7年度救急功労者表彰 受賞者名簿

### ●総務大臣表彰

受賞者10名

(五十音順・敬称略)

イノウエ タケシ 井上 健	山口県立総合医療センター 救急科診療部長	山口県
コイド ユウイチ 小井土 雄一	国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 DMAT事務局長	東京都
サトウ ヤスカズ 佐藤 泰和	医療法人 佐藤病院 名誉院長	秋田県
タカシナ ケンイチロウ 高階 謙一郎	京都第一赤十字病院 救命救急センター長	京都府
タキナミ マコト 滝浪 真	医療法人昨雲会 飯塚病院附属有隣病院 名誉院長	福島県
タクマ キョツグ 田熊 清継	川崎市立井田病院 副院長・救急センター所長	神奈川県
ナカムラ タカシ 中村 孝	医療法人光潤会 平間病院 副院長	茨城県
ニシヤマ キンゴ 西山 謹吾	高知大学医学部附属病院 副病院長	高知県
モリヤ タカシ 守谷 俊	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長・救命救急センター長	埼玉県
ヨシオカ カズオ 吉岡 一夫	医療法人倚山会田岡病院 院長	徳島県

## ●消防庁長官表彰

受賞者20名

(五十音順・敬称略)

アサイ マサヒト 浅井 正人	小牧市消防本部 消防署副署長	愛知県
アリマツ カズヒコ 有松 和彦	和歌山市消防局 指令課副課長	和歌山県
イトウ ヒロユキ 伊藤 博之	元 秋田市消防本部 消防理事兼秋田消防署長	秋田県
ウオモト マサヒロ 魚本 正宏	宮崎市消防局 主任 (元 次長)	宮崎県
ウチダ モトタカ 内田 元高	国土舘大学体育学部スポーツ医科学科 准教授 (元 東京消防庁豊島消防署長)	東京都
オイマツ カズアキ 生松 和昭	大和市消防本部 消防署参事	神奈川県
オカザワ ノリオ 岡澤 憲男	長野市消防局 次長兼警防課長	長野県
カワイ ヨシユキ 川井 賀行	志太広域事務組合志太消防本部 焼津消防署長	静岡県
カワサキ ノブオ 川崎 信夫	小樽市消防本部 消防士長 (元 救急課長)	北海道
カワハラ トシユキ 河原 利之	堺市消防局 救急部救急ワークステーション所長	大阪府
カンダ アキヒロ 甘田 明広	高崎市等広域消防局 消防局長	群馬県
キタオカ カズタカ 北岡 和高	松山市消防局 救急課 課長	愛媛県
サカネ カツヤ 坂根 克哉	京都市消防局 警防部救急課 救急課長	京都府
シマダ トモヒロ 島田 智弘	さいたま市 消防長	埼玉県
タカイ ヒロオミ 高井 啓臣	徳島市消防局 東消防署勝占分署長	徳島県
タミヤ マサフミ 田宮 正史	奈良県広域消防組合消防本部 消防士長 (元 副消防長)	奈良県
ナカノ マサヒロ 中野 雅裕	福井市消防局 救急救助課長	福井県
ハマゾノ タクゾウ 濱園 宅造	鹿児島市消防局 南消防署喜入分遣隊 隊長	鹿児島県
ヒビノ マモル 日比野 守	浦安市消防本部 警防課 課長	千葉県
ムカイ シゲキ 向井 茂樹	長崎市消防局 会計年度任用職員(元 長崎市北消防署 主査)	長崎県

### 3. 応急手当の普及啓発に関するポスターの作成・配布（制作：一般財団法人救急振興財団）

今年度のポスターは、突然目の前で人が倒れたときにも、救命講習の記憶を思い出して、迷いながらも命をつなぐ一歩を踏み出して欲しいという願いをこめて作成されました。

ポスターは一般財団法人救急振興財団を通じて、全国の消防本部や消防関係団体に配布されました。



和7年度救急の日ポスター

### 4. おわりに

消防庁では、「救急の日」及び「救急医療週間」を通じて都道府県や市町村、関係機関などと連携し、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めていくとともに、救急業務のより一層の充実強化を図っていきます。

#### 問合せ先

消防庁救急企画室 竹田、松田、三宅、岡村  
TEL: 03-5253-7529